

(新) 廃棄物処理施設における水銀等排出状況調査

8百万円(0百万円)

廃棄物・リサイクル対策部 廃棄物対策課

1. 事業内容

(1) 収集・運搬・分別の実態把握から、廃棄物処理施設(ごみ焼却施設、最終処分場等)、リサイクル関連施設等における水銀、鉛、カドミウムの排出状況等調査を行い、現状、課題等を把握、整理する。

(2) 廃棄物処理施設等、それぞれの施設における処理方式、工程等での水銀等重金属の物質フローを明確にすることで、最適な処理方策を検討するとともに、処理モデルの提案を行う。

2. 事業計画

平成21年度

処理施設における重金属実態調査

平成22年度

水銀等排出低減化のための最適処理方策の検討、モデルでの検証

3. 施策の効果

焼却、埋設等の廃棄物処理において、水銀等重金属についての排出量の最適低減化モデルを見い出すことにより、国内における水銀を始めとした重金属の安全対策の強化を図る。

また、国際連合環境計画(UNEP)における水銀に関する廃棄物管理分野での議論にも資するものとなる。

廃棄物処理施設における水銀等排出状況調査

UNEP水銀パートナーシッププログラム(廃棄物管理分野)への対応

日本のスタンス

- ・水俣病経験国として水銀対策の強化は歓迎
- ・水銀パートナーシップにおける各種検討への積極的なリーダーシップの発揮

UNEP重金属プログラム

2001年	UNEP水銀プログラム	世界規模での水銀汚染に関連する活動
2005年	UNEP重金属プログラム	鉛、カドミウムが対象物質に追加
2007年	水銀パートナーシッププログラム(第24回UNEP管理理事会)	廃棄物処理分野の検討開始



新たな分野に関する水銀パートナーシッププログラムの検討
廃棄物管理(廃棄物焼却、水銀の長期保管等)

Hg

Pb

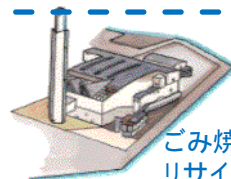
Cd

蛍光灯、乾電池等



収集運搬

分別・収集運搬システムの実態把握
保管状況の実態把握



ごみ焼却施設
リサイクル施設



最終処分場
(長期保管)

廃棄物処理施設

排出量の実態把握(排ガス、放流水、リサイクル製品等)
処理フローにおける物質移動量の把握

実態調査に基づいた廃棄物処理施設における水銀等の物質フローの明確化



水銀等重金属の排出量低減化方策、最適処理・管理システムの検討